

川尻地区まちづくり計画

(令和元年度改訂)

呉市川尻町まちづくり委員会

はじめに

川尻地区におけるまちづくり事業を円滑で効率的に推進するため、まちづくり委員会を設置し、川尻地区まちづくり計画を平成21年（2009年）8月に策定して、10年の歳月が経過しました。

本計画において、①海と山が織りなす彩りあるまちづくり ②美しく安らかで快適な彩りあるまちづくり ③人と人がふれ合い元気な彩りあるまちづくり ④筆と芸術文化の彩りあるまちづくりを4本柱として、様々な取組を行ってきました。

この10年間に各種事業を実施したことにより、まちの元気や活性化が図られるなど、一定の成果があげられる一方で、高齢化や人口減少等により、取り組む事業が減少し、人と人とのつながりが希薄になっていることが大きな課題となっています。

平成30年7月西日本豪雨により、市内各地で土砂崩れや河川の氾濫、家屋浸水が発生する等、大きな被害を受けたところですが、川尻地区におきましても、水道施設の損壊により、約1ヶ月間断水となり、多くの市民が大変苦勞しましたので、今後は、行政と地域が一体となって、災害に強い安全・安心なまちづくりを目指していきたいと思えます。

川尻地区まちづくりスローガンである『彩り薫る「かわじり」いいな』を実感できるよう、地域ぐるみで様々な取組を行いますので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

呉市川尻町まちづくり委員会 会長 隠村 誠二



まちづくり委員会メンバー

会 長 隠村 誠二
副 会 長 橋本 民夫
会 計 中川 久美子
監 事 河野 一美, 土井 敏範
委 員 原田 邦子, 今村 和明
顧 問 坪川 竜大, 橋口 晶, 梶山 政孝,
渡辺 正弘

令和2（2020）年1月

呉市川尻町まちづくり委員会

【事務局】川尻市民センター
〒737-2607
呉市川尻町東1丁目1番21号
TEL(0823)87-3310
FAX(0823)87-5321

川尻地区の概要

歴史

明治22（1889）年の町村制施行に伴い、「川尻村」として発足し、大正11（1922）年に町制を施行しました。そして、昭和31年に郡の再編成により、豊田郡（従来は賀茂郡）となり、昭和33年に安登村の一部を編入しました。

その後、平成の大合併により、平成16年に呉市と合併しました。

広島県の中央南部に位置し、広島市と約40km、福山市と約80kmの距離にあり、JR呉線及び一般国道185号によって結ばれています。

面積は、16.85km²、前面に瀬戸内海、背後に野呂山に面する自然環境に恵まれた地域となっています。

瀬戸内海には、豊かな緑におおわれた柏島が浮かび、安芸灘諸島の島々とともに美しい景観となっています。一方、背後に位置する野呂山は、瀬戸内海国立公園の区域に指定され、春の桜満開時には、壮観な風景となります。

また、気候は比較的温暖な地域ですが、野呂山は冬には降雪が多くあり、平地との温度差がかなりあります。降雨量は年間を通して多くはなく、温暖で比較的雨の少ない過ごしやすい気候条件となっています。



地理・気候



人口



平成21年3月末の人口は、9,803人でしたが、平成31年3月末の人口は、8,284人と大幅に減少しています。

一方、平成21年3月末の65才以上の人が占める割合は、26.0%でしたが、平成31年3月末の割合は38.4%となっており、高齢化が進行しています。

産業

農家の高齢化に伴い、農家数は減少し、漁業は小規模経営の漁船漁業が主体に営まれるなど、農業・漁業とも産業全体での占める割合は低くなっています。

工業は、伝統的地場産業である「筆づくり」に加え、造船業などの事業所が立地し、産業を支えています。

商業は、小売業が多く、以前は商店街に多くの店舗が形成され、繁盛していましたが、現在は店舗が大幅に減少しています。

観光は、瀬戸内海国立公園の区域に指定されている野呂山に野呂高原ロッジやキャンプ場があるものの、観光客が減少傾向にあることから、グリーンピアせとうちや安芸灘諸島の観光施設などと連携して、観光客の誘致を図る必要があります。



～川尻地区まちづくりスローガン（将来像）～

彩り薫る「かわじり」いいな

瀬戸内海や野呂山といった豊かな自然環境の中で、住民一人一人が安心して住むことができ、心から「いいな」と思えるまちにしていこうという願いを含めた将来像です。

豊かな自然環境と共に、人と人がふれ合い、福祉・文化・スポーツなどのあらゆる面で楽しく安心して快適に住み続けられるまちを目指します。

少子高齢化が進む中で、若い世代が子育てしやすい環境となるような少子化対策の充実を図り、人づくり・地域づくりを進めていくことが、これからのまちづくりにおいて大切であると考えています。

まちづくり計画実践のための4つの柱（振興方針）

1 海と山が織りなす 彩りあるまちづくり

豊富な自然を大切に、活かすことで、観光などを通じて地域の活性化につなげ、明るく活力あるまちづくりを推進します。

活動方針

- 【観光客の誘致】・・・野呂山観光客を増加させるため、近隣観光施設と連携を図りながら、周遊性を高め、野呂山の魅力を全国に発信し、観光客の誘致を図ります。
- 【地域資源の活用】・・・地域資源（野呂高原ロッジ、キャンプ場など）を整備して、多くの人に活用していただき、地域の活性化を図ります。
- 【特産品創出】・・・イノシシなどのジビエやブルーベリーなどを活用した加工品など、特色のある特産品を創出し、まちを元気にします。

2 美しく安らかで快適な 彩りあるまちづくり

誰もが心から安らかに過ごせるよう、安全・安心で美しく快適な環境を備えたまちづくりを推進します。

活動方針

- 【安全・安心なまち】・・・平成30年西日本豪雨災害を受け、自主防災組織が中心となって、各地域での防災マップづくりや定例的な避難訓練などを実施し、住民の防災意識の向上を図ります。また、防犯活動や交通安全活動を推進し、安全・安心なまちを形成していきます。
- 【環境美化活動】・・・町内清掃や美化活動を積極的に実施し、住民の環境に対する意識を高揚させ、美しい景観を保持していきます。
- 【交通体系の整備】・・・快適で便利に暮らせる交通環境を確保するため、関係機関と連携して、交通体系の整備に努めていきます。

3 人と人がふれ合い元気な 彩りあるまちづくり

一人一人の住民が家庭や地域で生きがいを感じながら、世代間交流などを通じ、豊かな心をもって健康に暮らせるまちづくりを推進します。

活動方針

- 【世代間交流】・・・若者から高齢者まで、幅広い年代での交流を深める機会を設け、社会参加を促進するとともに、人に優しい心を育てていきます。
- 【子育ての充実】・・・子どもの健やかな成長を促進するため、地域ぐるみで取り組む子育て事業への支援を充実します。
- 【スポーツ振興と健康づくり】・・・青少年の心身の健全な発達を促すと同時に、コミュニケーション能力の育成や豊かな心と他人に対する思いやりを育むことなどを目的にスポーツの振興を図ります。また、健康づくりに関する情報を積極的に発信するとともに、住民の自主的な活動に対する支援を実施し、健康づくりを推進します。
- 【福祉の充実】・・・福祉に対する理解を深めるとともに、ボランティア活動を推進し、人と人が支え合うコミュニティづくりに取り組んでいきます。

4 筆と芸術文化の 彩りあるまちづくり

芸術文化を継承・発展させるとともに、地域の特色を生かしながら、一人一人が豊かな感性を育むことができるまちづくりを推進します。

活動方針

- 【芸術文化の振興】・・・芸術文化のイベントなどを通して、住民の自主的で多様な芸術文化活動を推進するとともに、文化交流や優れた芸術にふれ合うことのできる機会や情報の提供に努めます。
- 【文化の伝承】・・・川尻地区特有の文化芸術を次世代の担い手に伝承するとともに、担い手の確保・育成に努めます。



▲野呂山開き



▲防災訓練



▲町内一斉清掃



▲交通安全教室



▲かわじり元気まつり



▲町民体育祭



▲新成人を祝う会



▲芸能文化祭



▲町民文化祭



▲祇園祭り

まちづくりの活動内容

平成 21 年にまちづくり計画を策定し、各種事業を実施してきましたが、この 10 年間で見てきた課題と効果を検証し、これからの方向性を示します。

事業名の赤字は、新規計画事業です。短期▶は3年以内、中期▶▶は5年以内、長期▶▶▶は10年以内の実施が目標です。

① 海と山が織りなす彩りあるまちづくり

- 【課題】 ○事業内容のマンネリ化 ○効果的なPR不足
- 【効果】 ○野呂山の全国的なPR ○特産化（ブルーベリー）の取組
- 【方向性】 ○事業内容の見直し ○新規事業の検討

活動方針	事業名	事業内容	実施目標
観光客の誘致	野呂山山開き	登山者の安全祈願と野呂山のPR	継続
	野呂山イベント	のろのろ登山、椎茸づくり・筆づくり体験等	継続
	観光ガイドの育成	野呂山の歴史等観光ガイドの育成	中期▶
	観光PR	川尻観光パンフ作成、ホームページ活用	短期▶
地域資源の活用	野呂山国民宿舎の改修	野呂高原ロッジの建て替え	長期▶▶
	地域資源PR	川尻筆・日本一短いトンネルPR	中期▶
特産品創出	特産品開発	川尻特産品の開発	中期▶
	市民農園の開設	遊休農地を利用して市民に農園の提供	中期▶
	青空市場の開催	川尻港青空市の開催	短期▶

② 美しく安らかで快適な彩りあるまちづくり

- 【課題】 ○災害発生時における迅速・的確な対応 ○災害時における高齢者等への取組
- 【効果】 ○自主防災組織活動による防災意識の向上 ○防犯カメラ設置による犯罪の抑止効果
- 【方向性】 ○川尻地区防災計画の検討
○関係団体（自主防災組織、自治会、民生委員児童委員協議会、消防団など）が連携した防災体制の構築

活動方針	事業名	事業内容	実施目標
安全・安心なまち	自主防災組織活動	各自治会で行う自主防災組織活動	継続
	交通安全指導	交通ルール等の啓発	継続
	防犯活動	防犯パトロール、防犯カメラ設置	継続
	安全マップ作成	避難場所等を掲載したマップづくり	中期▶
	川尻地区防災計画策定	災害発生や被害拡大を未然に防止するための防災計画づくり	中期▶
環境美化運動	町内一斉清掃	年2回地域全体の清掃活動	継続
	清掃ボランティア	小中学生によるボランティア活動	継続
	ゴミステーション管理	自治会単位でのゴミステーション管理	継続
	不法投棄防止活動	看板設置等による啓発活動	継続
	まち普請事業	憩いの場創出や環境整備	継続
交通体系の整備	野呂山無料定期バス	川尻駅から野呂山への無料バス運行	継続
	駅の利便性確保	駅のエレベータ化、駅前開発（ロータリー化）等	長期▶▶
	JR呉線の増便	広島市や呉市中心部への利便性向上	長期▶▶
	生活バス運行	現在の生活バス運行形態の確保	継続
	道路整備	国道・県道・うぐいすラインを補完する道路整備	長期▶▶▶



▲椎茸づくり体験



▲野呂山芸術村交流展



▲地域防災活動



▲マラソン大会



▲子育てサロン



▲虫送り

③ 人と人がふれ合い元気な彩りあるまちづくり

- 【課題】 ○コミュニケーションの希薄化 ○各種イベントのマンネリ化
- 【効果】 ○多世代間交流による地域の活性化 ○喜楽会等による元気な高齢者づくり
- 【方向性】 ○新たなまちおこし事業の検討 ○地域ぐるみで取り組む子育て支援

活動方針	事業名	事業内容	実施目標
世代間交流	新成人を祝う会	新成人を地域で祝う会	継続
	わくわくお話し広場	小学生等への絵本朗読ボランティア	継続
	まつりの開催	祇園まつり、秋まつり	継続
	元気まつり	川尻を元気にするイベント	継続
	子どもまちづくり事業	子どもと大人が一体となって行うまちづくり事業	継続
	若者によるまちおこし	まちを活性化させる事業	短期▶
子育ての充実	育児相談室	育児の悩みごと相談室	継続
	子育てサロン	赤ちゃんと母親のレクリエーションの場	継続
	乳幼児保育教育	地域ぐるみで取り組む乳幼児保育教育	短期▶
スポーツ振興と健康づくり	町民体育祭	地域全体で行う体育祭	継続
	スポーツ大会	各種のスポーツ大会	継続
	ふるさとの散歩道ウォーク	川尻町内のウォーキング	継続
	食農教育	小学生による野菜づくり・米づくり	継続
	いきいき健康教室	健康に係る各種イベント	継続
福祉の充実	ふれ合い事業	あいあいカフェ、きんさいや等	継続
	敬老会	高齢者を地域で祝う会	継続
	きんさい喜楽会	いきいきサロン参加者による歌謡・舞踏会	継続
	友愛訪問	1人暮らしの高齢者訪問	継続

④ 筆と芸術文化の彩りあるまちづくり

- 【課題】 ○各種事業の減少 ○芸術・文化の後継者育成
- 【効果】 ○公募展等での受賞 ○伝統文化の継続・継承
- 【方向性】 ○伝統文化の更なる発展 ○芸術・文化の担い手育成

活動方針	事業名	事業内容	実施目標
芸術文化の振興	町民文化祭	絵画・陶芸・書芸などの作品展	継続
	音楽の玉手箱	ロビーコンサート開催	継続
	野呂山芸術村交流展	芸術村画家の作品公開や絵画教室	継続
	芸能文化祭	舞踊・歌謡などの発表会	継続
文化の伝承	伝統文化の継承	さんさ踊り・虫送り等の伝承	継続
	川尻筆の後継者育成	特産品である川尻筆の伝統継承	中期▶

【彩りあるまちづくり】に向けて

平成 21 年に川尻地区まちづくり計画を策定して、各種事業を実施してきましたが、10 年が経過する中で、様々な課題が見えてきました。また、平成 30 年の西日本豪雨から 1 年が経過しますが、呉市では、災害に強い幸せで魅力的な都市を目指して「呉市復興計画」を策定し、復興に向けた各種取組を実施することとしています。こういった中で、川尻地区におきましても、自主防災組織を中心として、関係団体と連携しながら、安全・安心なまちづくりを強力に推進し、「彩り薫るかわじり」を目指して、住民がわくわくできる魅力的な事業を実施していきます。